





## R6年度末時点の取組結果

### 【概要,目的】

市民や企業等に対し、公共交通に対する意識啓発やイメージ アップを図りながら, 多様なライフスタイルの中での自発的 な公共交通利用や行動変容を訴求するためのもの

- 公共交通のイメージアップ
  - 公共交通を利用したいと思うきっかけづくり
  - 公共交通の価値を自分ゴト化
- 移動手段を「クルマ,徒歩,公共交通」とする意識改革

▶ 公共交通利用促進パンフレット 「乗ろうよ!」「もっと乗ろうよ!」の作成



▶「乗ろうよ!フェア2024」の実施

▶乗車・体験型「MISSION GAME」の実施

▶ 「もっと乗ろうよ! movie」の制作









▶公共交通×市内周遊 「ぐるっとtotral



▶デジタル広告の展開





▶totraマニュアル の作成



▶公共交通 P R ブースの出展 (市内イベント)



▶工コ通勤普及促進事業



▶U字T事タイアップ交通動画制作



- ▶ 各種広報 P R
- ▶ SNSキャンペーン







▶高齢者向けパンフレット 「totraで乗ろうよ!」の作成



宇都宮市総合政策部交通政策課利用促進グループ TEL.028-632-2160

etc. 2





## R6年度末時点の取組結果

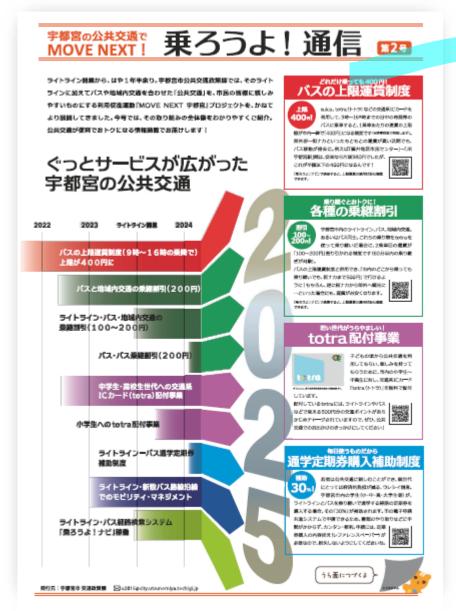
【乗ろうよ!通信 第1号】

 ■ R5年度事業のトピックを網羅 し, ライトライン開業式典や ライトライン解剖図鑑を主要 トピックとしつつ, 「乗ろう よ!ナビ」なども記事化



【乗ろうよ!通信 第2号】

- R6年度事業のトピックを網羅し、バスの上限運賃制度やtotra配布事業、MMの結果のまとめ、ペルソナに沿った気付きの観点などを紹介しつつ、「乗ろうよ!ナビ」の進化なども記事化
- 配布先(紙)市内イベント, MM講習会等
- 掲載先(web等) 市ホームページ, 職員向け掲示板 等



#### MotuRooki 公共交通 モビリティ・マネジメント

丁香飲したパス原稿の別様でMMを実施しており、これまでMMを着きかけてき たエリアでは、タルマと公共交通を扱い付ける方が展えるせど、効果が上がってい ます。

#### 沿線住民MMの結果が出ました!



製造に対している。 製造に対した。またいでは、まつです。 場合がはした。最終的には、よりです。 なった「見さり」とサビリード等的 大学環境キャンパスが増加してライト マインかられてに変形に実施である。 制度のどもご覧がに対して、最初の様数 や性態に対える悪を使えるもの。マイ ニーロボジェルのはできるか。

に関する単的・単級アンケートを行ないました。 軽単として、他期間等500名のかみのうち、約半額のカガマイカーと公共交通を 参い分けているのか、14個を分割をできない。 関うている1方の割合が減少し、「マイカーと会社交通を扱い分けている1方が認施

#### 学生とのコラボで、MM進行中!

ライトラインの停留等「美雄高地勢」作断人・作前を人対けなは、その名の通り 停留者のすぐ近くに、守御空業能高級と、作家学能大学・作品学能大学女子収開 大学挙が位置しています。そこで今年後は、作家人・作家被大の学生さんを対象

されています。 MMの最まかけだ ジールとしてお成 されたのは、ボクッ トサイプに外の量 本れたライトライン元級マップ、 作歌大・作者を大力学生さんな

作動大・作動製大の参生さんた かと、中の担当職員、プロのデ ザイナー・コピーライターとの 合作とよるもので、耐いていく とライトラインの制介や同額 の・原質の最初の、動物の動 力やオススメスポット紹介など が関わる。曲のごくさんの内部 できない。

です。 この近様マップは主学生に配布 され、それによる学生さんの意 競会心を見るアンクートが実施 ロです。

THE REPORT OF THE PERSON OF TH

#### スマホュって、ここまで明末に 「乗ろうよ!ナビ」の進化



ナビ」、もの、必要いいにだけましたので 定角のテイトラインの意識パスの程施 接異機能に起えて、ドア・トゥ・ドアでの 接異所の過去、様えばかを生死から目的 地域での入力で、接着は対象が表示され あようになったのです。 それだけではく、ボトク学パスの上版

それだけでなく、おトクな「バスの上版 通常制度」で「各種の場場所リルコいて も、映画版をと同時で含価を算えりみ マ研究とは何となった一日際的としてく れる人です!

どうまわったが見てみよう! 宇都宮の公共交通いま・むかし

#### パリアフリー設計のライトラインに感覚!



概念の例は、タイトラインやパスで展示の場で達けに行きます。タイトラインは 配置がおいるで乗り付きなのかでし、べるが開発する人が表現が得るであって であるので乗ります。それに、タイトラインとパスを乗り得てる。 実際事業的になっており方になるもでする。

会員交通場、最にとっても飲いやすいことが失る。ですから、加藤さんのように乗いずの内を予自由なく乗り乗りできるように工夫されているんですね。

物とライトラインはパリアフリー級計とこだわっていて、存業等への アプローチもスムーズ、事実自体を発展がない指す式事実であるかか。 になーチャリーダールドでに子が耐くな事に重かれているんです。

#### 本来950円の交通費が、なんと半額以下!?



長期国務を見関して、毎年期的に行く課題にバスでおってみたんです。でした も、上級課題制能が最終的自由のがで、正確の利益の中間に下す行き用いて およして、これらのウルでも予想しても、公司の着で暮らしていなってかっても予想しても、公司の方法を表している。

(本本人 下記の登録の場合、正原料会の行る円に対して実際は499円と、グッ とおかりに申取できるようになったんです!

> ・ 同様は四級地スロバス等へ「株性会情能」パス等等を検査する場合 は実施地スローナ等の表面は、200円、400円に関連的地位をはなるの を対象をロールを立めまた。200円、200円になっては無数の表面による。

#### 以前は駐車場採しにウンザリしていたけれど…



日本報告に日本報とではよとせど、今日からからからからなる報告報じて まからにおす。本の本た日本ルティのようがあしまっては、もの書かに まならげ、生命本業の表を出しまっては、 の社会表の表によってあり、日本ル・カイトによってはないできった。

今日は子どもたちん、ベルセーカマショッピング、区域は食い向けたでの機能を

お子さんも、そんな社父さんとの象にいる魔を無に、大きくなったらライトラインやパスを摘ってお出かけするように応名のではないでしょうか。

#### 編集後記

今回の「美さうよ」選択。第2号では、公共交通利用投資運動「MOVE MEXT UTSUNDMINA」で検加している数多くの選集をご紹介させていただきました。 投資運動としては、今までの発行物の中で新トラに分かりやすくまとまっていると思いますので、ぎじ得み返していただけると嬉しいです。

平原REC タイトラインが近り始めて至くも1年中。全体交流をからる環境が大きく変化する中で、利用資温重数である「MOVE NEXT UTSUNOMENA」 も安全・運化していく返回からかす。 例式といるある機器が運用体化がCXの上が変更が成なる事態がある場合があることもと、それでいる適合を 第一点と必要まて、「O O OTで、市内の公共交通なに日本が返還!こといった機能にアラブテトドライルとといったことだった。



条年も、交通事業者と連携したイベントなど、公共交通をより「使用に「発査に」通じていただくたれの取組をどんさん企画していきたいと考えており またので、イベルを担い。





# R6年度末時点の取組結果

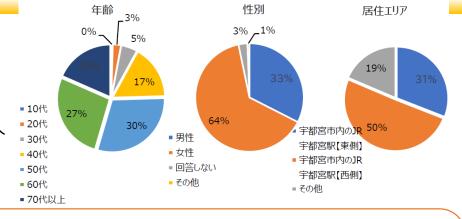
### 【抜粋】公共交通プロモーション業務内「事業効果検証アンケート」結果

下野新聞社LINEアカウント「とちぽ」にてアンケート実施 実施手法

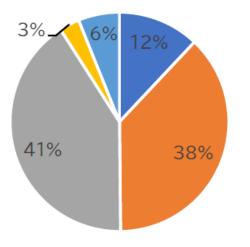
対象者 ともだち登録者のうち宇都宮市在住の約1万人の中からランダム5,000人

実施期間 令和7年2月21日~3月3日

有効回答者数 640人



MOVE NEXT UTSUNOMIYA事業の取組などを通じて、宇都宮市 の公共交通への期待度に変化はありましたか?



回答数:640件

■ 期待度が上がった

■期待度は少し上がった

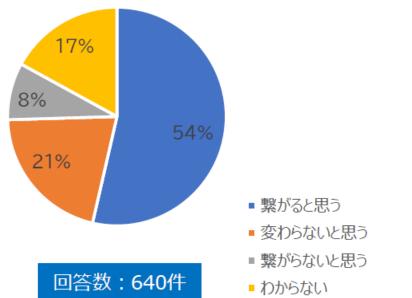
■ どちらともいえない

期待度は少し下がった

■期待度は下がった

「乗ろうよ!フェア」などのイベントや、YouTube U字工事チャ ンネルとのタイアップ動画, 運賃負担軽減策などのMOVE NEXT UTSUNOMIYA事業の取組は、公共交通の利用促進に繋がると思

いますか?



MNU等実施効果による本市公共交通の期待度は50%

MNUの取組が今後の利用促進に有効性があることの立証



R7年度の取組と進捗状況

◎ 事業実施に向けた基本的な考え方

 $\sim$ R6

R7~

「市域へのPR」を目的としたイベント出展

交通事業者と共同で「体験型MM」イベント展開

・ MNU事業有識者会議から得られた知見を,実施事業に反映させる 公共交通に触れるきっかけとなる**バス**を軸とした「体験型MM」を意識した企画 等

## 各ペルソナを狙った**全市的な**広報PR

これまで培った**ノウハウを活かした** ターゲットを限定した</u>広報PR

・ 令和6年度までに実施したプロモーション業務の効果分析を最大限活用する令和4~6年度アンケート結果などを活かしたコンテンツ制作、モビリティハブ事業との連携 等

### インセンティブで興味を促す面的な工コ通勤の推進

企業の自発的な取組を促す工コ通勤の推進

・ 事業費が大幅に削減されたことから、既存事業の在り方を見直すとともに、他事業との連携強化 エコ通勤優良事業所認証のインセンティブの廃止、沿線MMとの連携 等

### 有識者会議 意見

令和6年8月2日 第4回 MOVE NEXT UTSUNOMIYA 事業推進有識者会議

● 協議事項( R7 年度以降の MNU 事業の進め方について) 「子どもなどに対し,交通事業者の制服を着てもらい実際に車両に乗ってもらうような<mark>体験型の施策は大変良く,</mark> <mark>(今後も)実施すべき</mark>。 |



## R7年度の取組と進捗状況

・ ミニLRT乗車体験(宇都宮工業高校)
・ エコ通勤ラッピングバス展示
・ 販売ブース(オリジナルグッズ,トミカ,廃品)
・ 各種ブース出展(関係課,交通事業者)
・ キッチンカー(飲食店 ※市内事業者優先)
・ LUUP安全講習会,LUUP(臨時)ポートの設置
・ ライトラインジオラマ展示
・ ライトラインとの連携
・ 車両展示(関東自動車各種バス)

縁日コーナー(的当て,スーパーボールすくい,輪投げ,ガチャ

· 乗車体験

働くくるま展示

・ ワンマン機器操作体験

・ 飲食ブース(スープカレー,10円パン) 等



▲【参考】乗ろうよ!フェア2024キービジュアル





## R7年度の取組と進捗状況

# 項 目 名 学校MM(バスの乗り方教室)との連携

### ◎ 事業概要

公共交通の利用促進に加え、小学生のマイバス意識の醸成等を図るため、実際に市内を運行するバス車両を学校の駐車場や 校庭に持ち込み、totraを利用しながら、バスの乗降体験や車内でのマナー説明、福祉体験(車椅子での乗降体験)を実施する

もの(45分)

※ 小学2年生の生活科での活用を想定しているが、他学年の実施も可能

【講師】 バス事業者(関東自動車, JRバス関東), 国土交通省栃木運輸支局

【効果検証】乗り方教室の事前,事後にアンケート調査を実施

【実績】

内容

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
実施校数	1 校	1 校	1 校	4 校	4 校	5 校	11 校	11 校
年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6		合計
実施校数	6 校	1 校	6 校	10 校	6 校	4 校		71校

※ リピート校も多い現状

【これまでの取組と課題】

- ・ 運転手不足や繁忙期の関係で、短期間(冬季)のみの実施に限定されている
- ・ 校庭の広さや立地が原因で、路線バス持ち込みが難しく実施できない学校も存在する
- ・ 特別支援学校へ実施の打診を行っている







## R7年度の取組と進捗状況

## 項 目 名 工コ通勤普及促進事業

◎ 事業概要

主に市内の事業所に対して「エコ通勤優良事業所認証」の取得を促し、市としてさらなるエコ通勤の促進に寄与するもの

### 「工コ通勤優良事業所認証制度 |

工コ通勤に関して高い意識を持ち、エコ通勤に関する取組みを積極的に推進している事業所を、認証・登録し、 その取組みを国民に広く紹介する国土交通省が管轄する制度

※ 事務局:国土交通省大臣官房参事官(交通産業),公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

### 【R6実績】

- ・ 市内の16事業所が新たに「エコ通勤優良事業所認証」を取得(令和6年度末 市内全91社)
- インセンティブとして、以下のように実施

## 内容

### R6内容

- ・EVバスフルラッピング(令和7年3月1日~令和8年2月28日)
- ・車内(天井・運賃箱・座席背もたれ裏面・中ドア上部等)ラッピング

totra (企業配付用)

デジタルサイネージ(JR駅)

### 【課題】

最小限の費用で、効果的な事業展開を行う必要がある

### 【令和7年度の対応】

- モビリティ・マネジメント事業内の「企業MM」において働きかけを実施する沿線の企業等に対し、認証の新規取得の 打診を行いつつ、既取得企業の取組例を紹介しながら、インセンティブによらない事業の横展開を図っていく
- 既存事業(モビリティハブ事業等)とも連携しつつ,関連企業に打診予定

